

大阪湾における海底ごみの底びき網への入網状況

水産研究部 海域環境グループ

■背景と目的

海洋ごみ

- ・海底ごみ
- ・漂流ごみ
- ・漂着ごみ

漁業者の協力による回収

海底ごみの回収において
底びき網は重要なツール!

大阪府 (21年3月)

「おおさか海ごみゼロプラン」

- ・発生抑制
- ・円滑な回収・処理
- ・実態把握 etc...

目標：
2030年度に大阪湾へ
流入するプラごみの
量を半減させる

◎海底ごみの実態把握及び効率的な回収に向けた課題

底びき網における海底ごみの回収効率が不明
1回の操業で海底ごみをどれだけの割合で
回収しているのか？

➡ 分布密度や蓄積量を推定する上で支障



(写真右) 大阪湾で操業する底びき網 (石げた網)
(写真左) 石げた網に掛かった海底ごみ

目的 大阪湾で操業する底びき網 (石げた網) における
海底ごみの入網状況を検証し、採集効率を推定する

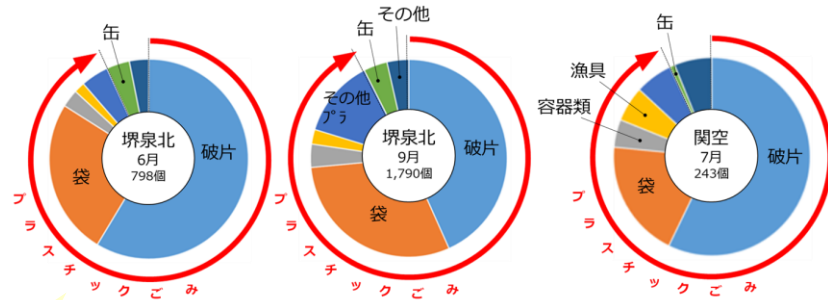
■調査方法・結果

- 方法
- ・堺泉北港、関西空港地先で石げた網を
同じ場所で15~17回曳網
 - ・海底ごみ：種類ごとに採集数を集計

- 結果
- ・ごみの採集数：関西空港<堺泉北港
 - ・各地点ともプラスチックごみが9割を占める
 - ・プラごみでは破片が最も多く、次いで袋類
 - ・関空地先は堺泉北港に比べ、缶が少なく、
漁具の割合が高かった



調査場所
堺泉北港：河口近く
関西空港：やや沖合



(上図) 調査場所別の石げた網にかかった海底ごみの組成

調査で採集された
海底ごみ



プラスチック類破片など



レジ袋



スナック菓子の袋(1970年代販売)



トレー

■今後の展開

大阪湾で操業するもう一つの底びき網である「板びき網」についても、石げた網と同様の
方法で海底ごみの入網状況を把握し、大阪湾における海底ごみ蓄積量の推定を試みます。